

平成 29 年 6 月 6 日  
こども未来局こども未来部  
幼 保 支 援 課  
電話 245-5976  
内線 6247

千葉市政担当記者 様

## 千葉大学教育学部と連携して幼保小連携・接続の強化を図ります ～「幼保小接続カリキュラムコーディネーター」に関する覚書を締結～

本日6月6日、千葉市と国立大学法人千葉大学教育学部は、本市における幼児教育と小学校教育の接続の強化を図るため、「幼保小接続カリキュラムコーディネーター」に関する覚書を締結しましたので、お知らせいたします。

### 1 趣旨

本市では、幼児教育と小学校教育とのつながりを強化するとともに、全市的な幼児教育の質の向上を図るため、「幼児教育の推進体制構築事業」を展開しています。

取組みをより効果的に推進するため、幼児教育に関する高い知見・人的資源を有する千葉大学教育学部と連携して取り組むこととしました。

### 2 連携内容

千葉大学教育学部の教職員の中から「幼保小接続カリキュラムコーディネーター」を選任し、市が指定するモデル実施園におけるアプローチカリキュラムの作成、実践及び検証に係る以下の取組みに関して、専門的見地による必要な助言などの支援を提供していただきます。

※「アプローチカリキュラム」とは、幼児期における発達や学びを小学校での生活や学習に円滑に接続するために、幼児期の教育・保育が終了する前の接続期（概ね年長児の後半）に、幼稚園・保育所・認定こども園で実施するカリキュラムです。

#### (1) 個別支援（年数回予定）

モデル実施園がアプローチカリキュラムの作成・実践等を行うにあたり、コーディネーターが個別に各園を訪問し支援を行う。

#### (2) 合同勉強会（年3回：第1回は平成29年6月予定）

各園が効果的に取組みを推進するため、モデル実施園合同の勉強会を開催し、意見・情報を交換し方向性を共有する。

#### (3) 公開研修会（年1回：平成30年2月頃開催予定）

各園が実践した取組みを近隣の園や小学校に公開し、教職員によるディスカッションなど、取組みの振り返りや参加者の動機づけとなるよう公開研修会を開催する。

### 3 覚書による成果

モデル実施園における取組みの成果を検証して、市内の幼稚園・保育所・認定こども園におけるカリキュラム作成の一助となる本市独自の「モデルカリキュラム」の作成・周知を図り、すべての幼児が小学校接続を意識した質の高い幼児教育を受けられる状態を目指します。